

9. 雨が少ない時はどうするの? — 札内川ダム

さつないがわ

川で行われた大きな工事



札内川ダム。ここに水をためておき、雨が少ないときでも札内川に水が流れるようにする。

川にすながるふだんの暮らし

(2) 大量の水をためる札内川ダム

さつないがわ

札内川ダムは、全部で5千400万m³という量の水をためることができます。

想像しにくいですが、帯広市役所で、約900杯分の量になります。ぎっちり並べて、グリーンパーク（帯広市緑ヶ丘、約8畝※2）13個分の広さが必要です。

ただし、この量すべてを水道水のために使うわけではありません。

川にすながる農業

川にすながる漁業や工業



大雨のとき洪水をおさえるために水をため、ある程度洪水が落ち着いたところで、水を流す札内川ダム。



札内川ダムのすぐ下に
ある札内川発電所。

(1) 雨が少なくてもいいように

「なかとかち浄水場」からは7つの市町村に水が送られており、大量の水が必要です。

しかし、川の水は多い時もあれば少ない時もあります。夏など川の水が少ない時ほど、水道水が必要になることもあります。

雨が降らなくても水が不足しないように、ためておかななくてはなりません。札内川ダムは、水道用の水をためておく役目を持っています。



札内川ダムのダム湖。雨が少ないときでも、大雨に備えて、余裕を残している。

(3) ほかに役目をもつ札内川ダム

さつないがわ

札内川ダムにためられた水は、水道のほかにも農業のためのかんがい用水にも使われます。

さらに、札内川ダムは使う水をためるほかに、下流に流れる水の量を調節する役目を持っています。

雨が少ない時には、川がかわないようにして、札内川の環境を守ります。

また、ダムのすぐ下には発電所があり、ダム湖にためた水の力で電気を起こすこともできます。

(→札内川ダム p20、→洪水 p10・p14・p74、
→発電 p48、→畑の水 p89)

札内川ダムの見学は5月中旬～10月下旬(10時～16時、火曜休)。
くわしく見たい場合はあらかじめ申し込みをしてください。

※ 申込・問い合わせ先: 札内川ダム管理所 0155-69-4666
ホームページ: <http://www.satsudam.go.jp/>

※1 浄水場(じょうすいじょう): 水を浄化(じょうか)して水道水にする施設(しせつ)。
※2 ヘクタール(ha): 面積の単位で1畝は100m×100mの広さ。8畝は400m×200mの広さ。

※3 かんがい(灌漑): 水を川などから引いて農地をうるおすこと。

付録